

質問のすすめ

平成20年05月21日

信号(地震)班

毛利 元昭(D2)



発表の意義と質問との関係

発表会

発表そのもの

質疑応答



質疑応答の良し悪しは、質問で決まる！

質問が不作な発表は、もったいない！

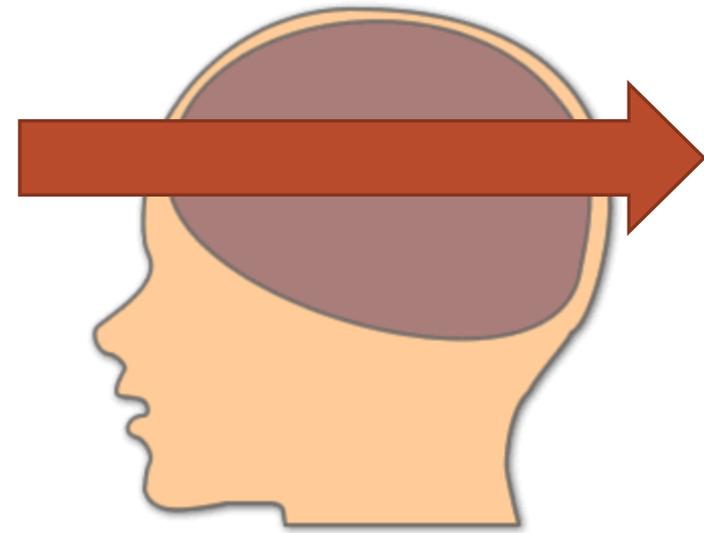
有意義な発表会にするために
良い質問をしよう！

Level 0: 質問できない(≠しない)

- 名工大生の多くはそう(我々だと少数?)
- 原因
 - 発表を流し聞きしている(興味がない?)
 - 発表内容を理解できていない
 - 質問する勇気がない

ステップアップに向けて

- 他者の研究へ興味を持つ
- 何か質問しようと心がける
- 発表者は理解のしやすさを心がける
- 質問は恥ずかしいことではないです



Level 1 : 場当たりの質問

□ B4の質問の多くはこれ(になっていませんか?)

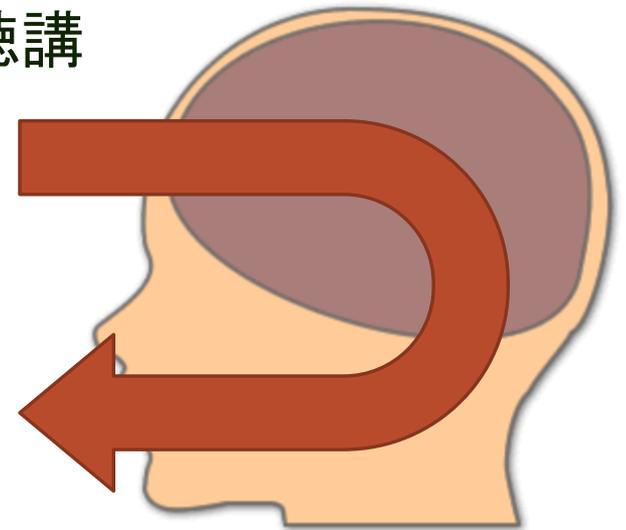
例 ~は何ですか? / どうしてですか?
~についてももう少し詳しく

□ 原因

- 発表内容を十分に理解できていない
- 分らなかった部分にとらわれたまま聴講

ステップアップに向けて

- ・関連性を整理しながら聞く
- ・どこがどう分からないのかを把握する
- ・他者の研究へ理解を深めておく
- ・論理的思考を養っておく

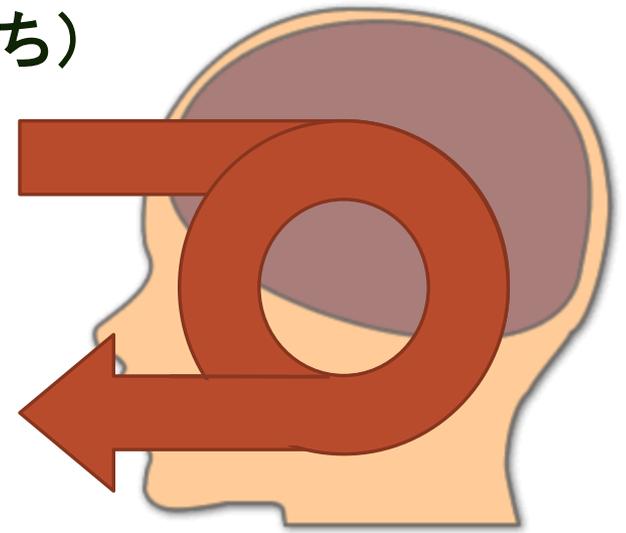


Level 2 : 把握した上での質問

- マスターの質問の多くはこれ(にはなりません)
- 特徴
 - 複数のスライドにまたがっている(相違点や比較など)
 - 具体的
 - 論理的
 - しかし, 単発的(回答にすぐ満足しがち)

ステップアップに向けて

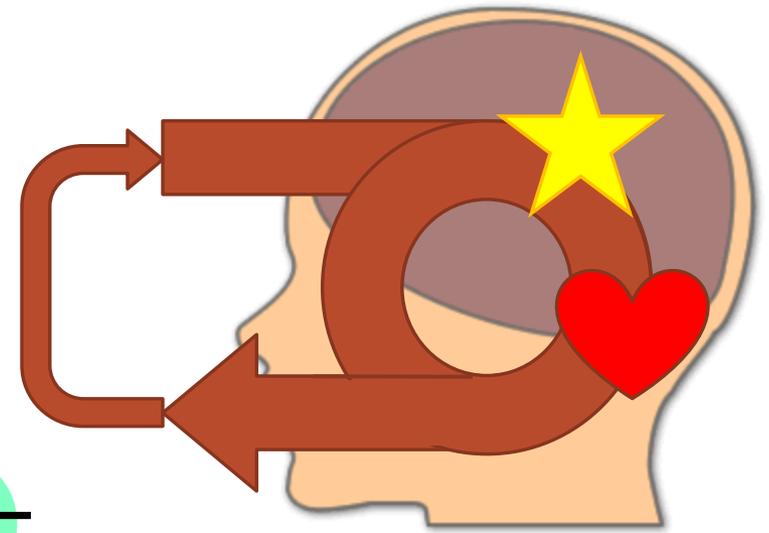
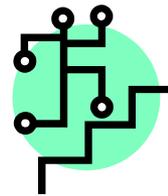
- ・回答の予想とそれへの返しを考える
- ・他の様々な情報との関連を考える
- ・視点を変えた再理解を試みる
- ・発表者や聴講者への愛情



Level 3 : 実りのある質問

- 先生方や力のある学生の質問はこれ(だと思います)
- 特徴
 - 自分の考えが含まれている(コメントなど)
 - 質問者と発表者のキャッチボール
 - 誘導的
 - 発展的
 - 周りの理解を手助け
 - 発表者側にも力が要求される

つまり、ディスカッション！
このレベルを目指して



発表者側へ・・・

- 沈黙しない
- 自分の発表内容を理解しておく
- 分かりやすい発表を心がける
- 慣れないうちはQ&Aを作っておくのもOK
- 基礎知識や予備知識を蓄えておく
- 質問の解釈に不安を感じたら聞き返す
- 発表会後のディスカッションは大いに
- 「後で調べておきます」は、ちゃんと調べておく
- 凹まされても引きずらない